

やまぎん

アジアニュース

2019年6月

●釜山支店 ☎010-82-51-462-3281 ●青島支店 ☎010-86-532-85766222 ●大連支店 ☎010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所 ☎010-852-2521-7194



【青島支店】

中国の中古車市場について

1. はじめに

いまや中国は、世界一、新車販売台数の多い国へと成長しましたが、2018年は1990年の調査開始以来初めて前年割れになるなど、新車市場が成熟しつつある一方、「二手车」と呼ばれる中古車販売市場が拡大しています。

上海・北京等の主要都市は車社会となっていますが、地方の小都市や農村は、主要都市に比べるとあまり普及していないのが現状です。

規制緩和やインターネットを利用した電子商取引の普及により、今まで車を保有していなかった消費者の関心が高まっており、特に、三級、四級都市と呼ばれる地方の小都市や農村に住む若者を中心に比較的安価でスタイルの良い車を買うニーズが高まっています。

2. 中国の中古車市場の現状

日本の中古車市場規模は、2018年では、中古車登録台数 383 万台（※）（新車販売台数 144 万台）となっており、2017年（386 万台）と比較すると、僅かながら減少しています。人口減少、若者の車離れ等の理由で、このままだと日本の中古車市場が拡大し続けることは難しいものと思われます。（※）中古車登録台数：新規登録台数、所有権の移転登録台数、使用者名の変更の合計

一方の中国では、2018年の中古車取引台数は 1,382 万台（新車販売台数 2,808 万台）に上り（中国自動車流通協会調べ）、前年比で 11.45%の増加。取引金額では、8,603 億 5,700 万元と前年比で 6.31%増加し、新車販売とは対照的な状況になっていることがわかります。中古車の中でも SUV 車は 2018年において、前年比約 30%増加と中古車市場拡大の一翼を担っています。販売台数では新車の方が、まだまだ圧倒的に多いのですが、2018年の新車販売台数は、初めて前年割れとなり、新車市場は、以前のようないは無くなりつつあります。



出所：中国汽车流通協会

中国政府は自動車産業の安定した成長のため、農村部の自動車購入の奨励、中古車取引の制度改善等について今後、様々な政策を実施することを発表しています。また、原則禁止していた中古車の輸出取引を地域限定（※）ではありますが、認めることを発表しています。これは、中国国内の中古車取引の活性化と中古車の品質向上につながるものとして期待されています。（※）北京市、天津市、上海市、浙江省（台州）、山東省（済寧）、広東省、四川省（成都）、陝西省（西安）、山東省（青島）、マカオ

一般的に、先進国の中古車販売台数は、新車販売の約 2 倍とされていますが、中国の場合、新車販売の約半分程度に留まっています。これは、中古車の流通に規制があったり、農村等では、販売店が無いことが原因とされています。中国では車に限らず伝統的に「知り合い」から「知り合い」への個人間売買が当たり前の風習があります。この場合、価格や条件もオープンにはならず、「知り合い」だけの特別条件で売買されます。個人売買では「この車の何年落ちであればいくら」といった相場よりも安く売買され、お得だと感じる人が多くいたことも中古車市場の発展を阻んでいた要因だと言えます。

人口 1,000 人あたりの自動車保有台数でも日本を含め欧米諸国は 600 台以上であるのに比べ、中国は 170 台程度であることから、まだまだ中古車市場の拡大の余地は大きいといえます。

また、「一人っ子政策」により男女構成比がいびつな数字になった結果、結婚できない男性が続出しています。「マイホームとマイカーを持っていない男性は結婚相手に相応しくない」といった風潮もあり、これまで車を持つことが出来なかった所得層、地方都市や農村部の若者に車を買わなければ結婚できないプレッシャーが生じていることも中古車販売が伸びてきている要因の 1 つとされています。

3. 中古車の電子商取引

中古車販売については、近年のインターネットを經由した電子商取引の普及により、消費者に購入しやすい環境が整ってきており電子商取引による中古車購入が増加傾向にあります。そのため中古車市場の成長性を見込んで電子商取引を行う業者

が参入し、莫大な資本をかけて広告を行い消費者の注目を集めています。



出所：中国产业信息网

人気車種について、比較的高額な 10 万元（165 万円）クラスでは日本車・ドイツ車が、5 万元（83 万円）クラスでは中国車・日本車・米国車がそれぞれ上位にランクインし、日本車は全体的に人気が高いと言えます。（※）1 人民元=16.5 円で計算

主な購入層としては、80 年、90 年代生まれの消費者が 7 割以上を占めると言われていますが、特に 90 年代生まれの消費者の利用が多く、中古車電子商取引の中心的な存在となっています。その背景としては、彼らが社会人になってから収入が増えたことや、仕事で時間が無くてもスマホ等でいつでも検索できるインターネット経由での購入に対し抵抗が少ないことが挙げられます。

彼らは車を選ぶ際、価格よりも「カッコよさ」を最も重視しており、気に入った車が見つかれば、ローンで購入することもあまりためらいがないようです。そのため、一度に色々な車種を検索できる電子商取引は、利便性が高く利用する人が増加傾向にあります。

ネット販売における人気車

価格帯 10 万元程度（約 165 万円）				価格帯 5 万元程度（約 83 万円）			
順位	メーカー	車種	国	順位	メーカー	車種	国
1	トヨタ	カムリ	日本	1	BYD	F3	中国
2	トヨタ	カローラ	日本	2	トヨタ	VIOS	日本
3	フォルクスワーゲン	Sagitar	独国	3	フォード	フォーカス	米国
4	現代自動車	ix35	韓国	4	吉利	Geely KingKong	中国
5	KIA	smartrun	韓国	5	ホンダ	シビック	日本
6	ニッサン	シルフィー	日本	6	GM	シボレー-SAIL	米国

7	フォード	フォーカス	米国	7	東風 KIA	K2	韓国
8	ホンダ	アコード	日本	8	フォルクス ワーゲン	Touran	独国
9	フォルクス ワーゲン	Lavida	独国	9	現代自動車	Elantra	韓国
10	ホンダ	シビック	日本	10	奥拓	NEW ALTO	中国

出所：十大品牌网

4. 終わりに

中国の都市部で街なかを歩いていると、軽自動車はほとんど見かけることはなくヨーロッパ、日本等の高級車の割合が非常に多いのが印象的です。「メンツ」を重要視する中国では、高級車を所有することはステータスを誇示する上で非常に大切なことである一方、生活や習慣上、必要な消費者層もたくさんいます。彼らは、まだ若く資産形成が進んでいなかったり、農村部等比較的所得の低い地域では、新車の購入は難しく、中古車の需要は高いと思われます。

中国では、現状、外国からの中古車輸入は禁止されていますが、中国経済の発展の余地を考えれば、中古車市場も巨大な市場に発展していくものと考えられ、外国人にとっても魅力的な市場となっていく可能性を秘めています。

山口銀行青島支店では、中国に関する様々なご相談を承っています。中古車に関すること以外でもぜひお気軽にお問合せください。

(山口銀行青島支店 上村 尚志)

《参考文献》

人民網(人民日報)日本語版

中国汽车流通協会 HP

中国汽车工业协会 HP

十大品牌网 HP

CHINA DAILY WEB 版

一般財団法人日本自動車販売協会連合会 HP